

グリーン購入行政ヒアリング結果 まとめ

調査対象：夜須町、大方町、檮原町、馬路村、高知市、高知県庁

調査期間：平成 17 年 8 月 16 日～23 日

調査方法：調査員による聞き取り調査

1. グリーン購入に関する取り組みについて

- ・ 物品調達に係る部署の職員はグリーン購入のことを知っているが、全庁的に見るとグリーン購入についての認識は低い傾向にある
- ・ 県市レベルでは独自の運用マニュアルを作成するなどしてグリーン購入に取り組んでいるが、町村レベルではグリーン購入に関する規定はない

2. 文房具・事務用品に関するグリーン購入の取り組みについて

- ・ コピー用紙についてはほとんどの役場でリサイクル用紙を使用
- ・ プリンタトナーはリサイクル品を使用している場合が多い
- ・ 出入りの文具業者がグリーン購入対象商品のみ納入している事例がある

3. グリーン購入に関する各種団体との連携について

- ・ ほとんどの役場で直接グリーン購入の認証機関等と連携はしていない
- ・ グリーン購入に関する運用マニュアルを整備している場合は、グリーン購入ネットワークへの加入や各種認証団体の基準を参考にしている

4. グリーン購入を庁内で推進するための課題

- ・ 各課職員のグリーン購入に対する知識・認識不足が課題
- ・ グリーン購入についての分かりやすい情報開示が必要
- ・ コスト削減につながるグリーン購入があれば取り組みたい
- ・ ISO14000 の取得など、グリーン購入に取り組む必要性を具体的に示す必要がある

5. 文房具・事務用品の年間調達金額

- ・ 役場の規模や計算方法による差があるものの、町村レベルで概ね 200 万円 / 年～1,000 万円、県市レベルで 1 億円以上 / 年
- ・ 診療所や学校は別会計の場合が多い（調達ルート別）

6. 文房具・事務用品の調達手順

- ・ 町村レベルでは、総務課で一括発注・在庫管理していることが多い
- ・ 文房具の入札はほとんどない（県の場合、160万円以上のみ入札）
- ・ 地元または近隣市町村の業者が庁内を巡回して注文を聞いて回るスタイルが一般的
- ・ 原則必要なときに必要な分を購入している
- ・ 文具に係る当初予算はカタログや前年度までの実績をもとに計上している（予算不足になることはほとんど無い）
- ・ 概ね10万円以上の物品については上司の決裁が必要
- ・ 県ではオープンカウンター方式を採用（週に1回、2グループの業者が交互に注文を受付）

7. 文房具・事務用品の注文先

- ・ 地元に納入可能な業者がいる場合は、地元業者を採用
- ・ 地元に業者がない場合でも、近隣市町村の業者を選定
- ・ 議会の指摘もあり、地元もしくは近隣業者の採用は必須となっている
- ・ 町村レベルでは地元・近隣の2業者と取引していることが多い
- ・ 過疎により地元業者がない場合は、インターネットや通販による注文が増えてきている傾向が見られる
- ・ 保守の必要な事務用品は極力地元業者から購入している

8. インターネットによる文房具・事務用品の購入について

- ・ インターネット通販であってもFAXを利用して注文していることが多い
- ・ インターネット通販を利用している場合は、その利用割合が年々増加する傾向にある
- ・ 地元業者がインターネットやカタログ通販による注文を推進している地域がある
- ・ 現状の業者販売より便利であれば利用の可能性はある（ご用聞き、即日配達など）
- ・ 県外事務所など、小規模でかつ地元業者との関係が薄いところはインターネットの利用率が100%の場合がある

9. インターネットによるグリーン購入の利用可能性について

- ・ 合併後は事務の効率化やコスト削減の面からグリーン購入やインターネットによる発注についてニーズが高まる可能性がある
- ・ 一度使って便利であれば続けて使う傾向があるので、導入当初が重要
- ・ 地元業者との関係があるか、地域への還元があるかどうかが鍵（地元以外の業者の参入は議会の理解を得にくい）
- ・ 価格が安ければグリーン購入のインターネットによる注文の可能性はあるが、100%インターネットによる発注は地元業者の保護等の視点から不可能（現時点では概ねシェア

20～30%程度)

- ・ グリーン購入という位置づけで取り組み場合においては、環境へのバックが必要
- ・ 地元で生産したグリーン購入対象商品をラインナップに追加することが必要
- ・ 現在は業者に口頭で注文しており、発注する職員の手間はほとんどかかっていないが、インターネットの注文になると職員の手間が増えるのを敬遠する可能性がある
- ・ コスト削減の面から財政関係部署は賛同するかも知れない
- ・ カタログがあると商品を選択できるので便利
- ・ グリーン購入の集計業務がある場合においては、インターネットで注文することでその作業が効率化されるため、事務処理のアウトソースの面から賛同するかも知れない

ヒアリング結果からみたインターネットによるグリーン購入推進のポイント

[グリーン購入推進のポイント]

グリーン購入についての知識・認識不足解消に向けた情報提供、職員教育の実施
グリーン購入に取り組む理由(必要性)の明確化(運用マニュアルの推進)
地元への還元方法の明確化(環境活動の支援など)

[インターネットによる文具・事務用品調達推進のポイント]

地元・近隣業者との共存・共栄または差別化
見やすいカタログの配布
安価な商品の提供
既存の販売方法に対する優位性の確保(ペーパーレス、事務の効率化、即日配達、プラスのサービス提供)
文具・事務用品に係る発注・管理業務の効率化(事務アウトソースの一環として)